

次の文を読み、次の問 1～3 に答えよ

50 歳の女性。嚥下困難、胸部痛と嘔吐とを主訴に来院した。45 歳を過ぎたころから前胸部に食物のつかえを感じるようになった。1 年前から食物がつかえたときにお茶で流し込むことが月に 2 回程度あった。最近、体重減少を自覚し、食後のつかえ感が増強し、嘔吐するようになったため受診した。

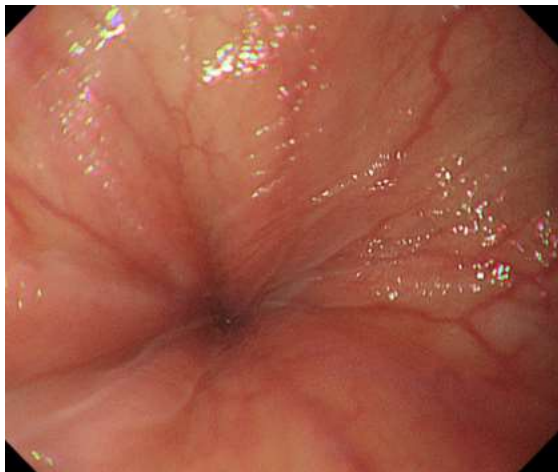
身長:154cm,体重:48,8kg,体温:36.8℃,心拍数:68/分, 血圧:127/70 mmHg

血液所見：赤血球 418 万, Hb 12.5g/dL, Ht37.6%, 白血球 5620

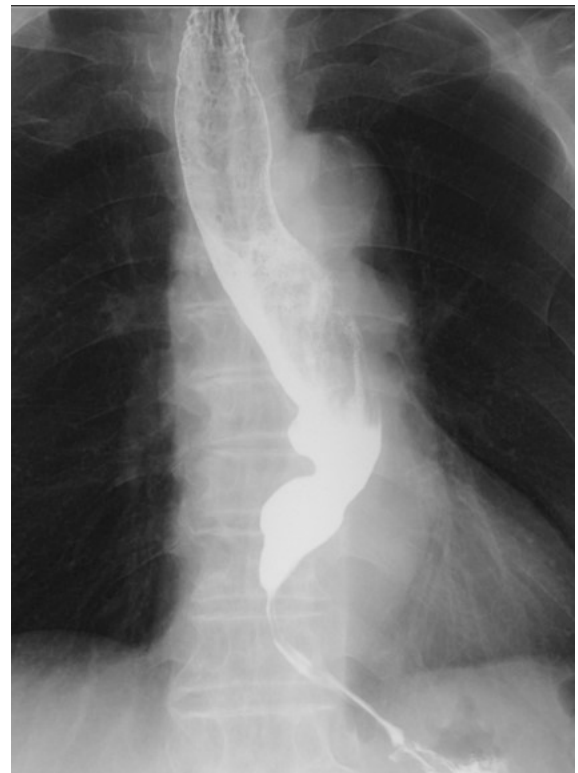
身体所見:腹部平坦,軟.圧痛なし.腸蠕動音はやや減弱.

血液生化学所見: 総蛋白:7.0, Alb:4.2, ChE:290, AST:24, ALT:22, 総コレステロール:165, Na:142, K:3.5, Cl:106

上部消化管内視鏡検査(A)、上部消化管造影検査(B)の結果を次に示す。



A



B

1. 嚥下困難の原因と考えられる疾患はどれか
 - a. 食道癌、 b. 食道アカラシア、 c. 食道裂孔ヘルニア、
 - d. 食道憩室、 e. 食道静脈瘤
2. 適切な薬物治療はどれか 2 つ選べ。
 - a. β 遮断薬、 b. 亜硝酸薬、 c. シスプラチン

- d. Ca拮抗薬、 e. ACE阻害薬

その後、薬物治療を行なったが軽快しなかった。

3. 次に考慮する治療はどれか2つ選べ。
- a. 内視鏡的バルーン拡張術、 b. POEM(内視鏡的食道筋層切開術)
 - b. 内視鏡的静脈瘤結紮術、 d. BRTO(バルーン下逆行性経静脈的塞栓術)
 - e. 食道部分切除術

解答

- 1. b
- 2. b.d
- 3. a.b

次の文章を読み、問 1～2 に答えよ。

86 歳の男性。がん検診で胃の病変を指摘され来院した。身体診察で腹部に異常を認めない。

既往歴:20 年前から高血圧症で治療中。

生活歴:喫煙は 10 本/日を 30 年間(50 歳まで)。飲酒は機会飲酒.ADL は自立している。

家族歴: 特記なし。

現症: 意識は清明.身長 160cm, 体重 61kg, 体温 36.4° C, 脈拍 63/分, 血圧 169/80mmHg.
呼吸数 18/分, 眼瞼結膜と眼球結膜とに異常を認めない, 表在リンパ節を触知しない. 心音と呼吸音とに異常を認めない,腹部は平坦, 軟, 圧痛(-), 腸蠕動音は正常。

検査所見 : 血液所見: 赤血球 310 万, Hb 10.6g/dL, Ht 29%, 白血球 8,600, 血小板 22 万。

血液生化学所見 : 総蛋白 6.8g/dL, アルミン 3.0g/dL, 総リルン 0.9mg/dL, AST 30IU/L, ALT 42IU/L, LD 350IU/L(基準 176~353), ALP 242IU/L(基準 115~359), γ -GTP 83IU/L(基準 8~50), 血糖 108mg/dL, HbA1c 5.8% (基準 4.6~6.2), 総コレステロール 57mg/dL, Na 140mEq/L, K 3.8mEq/L, Cl 100mEq/L.CRP 0.4mg/dL。

上部消化管内視鏡写真(A)とを次に示す。



A

問1. 上部消化管内視鏡像の肉眼型はどれか。

- a 0 型 b 1 型 c 2 型 d 3 型 e 4 型

問2. 今回の症例で内視鏡治療の適応決定に影響しないのはどれか.

- a. 深達度 b. 組織型 c. 潰瘍形成 d. リンパ節転移 e. 部位

解答

問1. a

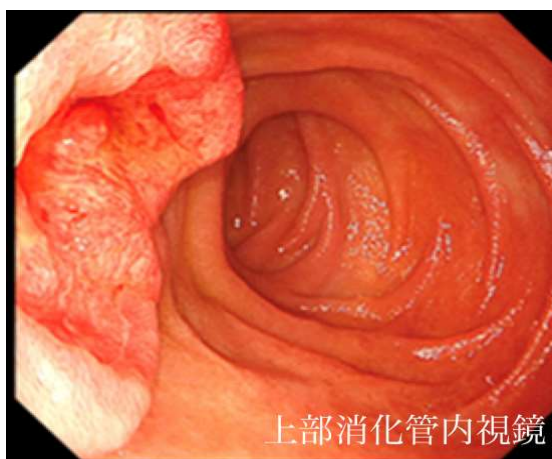
問2. e

次の文章を読んで、問に答えよ。

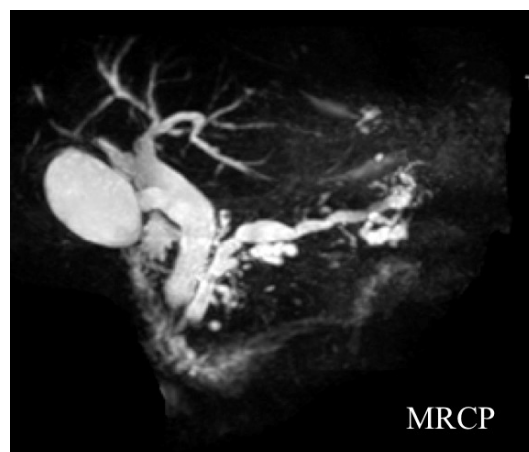
74歳の女性。自宅で皮膚の黄染を自覚して来院した。

身体所見：体温 36.0℃。脈拍 56/分，整。血圧 124/74mmHg。呼吸数 16/分。SpO₂ 98% (room air)。眼球結膜に異常なし，眼瞼結膜に黄染認める。腹部は平坦，軟で，圧痛を認めない。全身に軽度の黄染を認める。肝，脾を触知せず，浮腫も認めない。

血液所見：赤血球 407 万，Hb 13.0g/dL，Ht 39%，白血球 7,800，血小板 26 万。血液生化学所見：アルブミン 3.3g/dL，総ビリルビン 12.2mg/dL，直接ビリルビン 8.9mg/dL，間接ビリルビン 3.3mg/dL，AST 125IU/L，ALT 191IU/L，ALP 516IU/L（基準 115～359），アミラーゼ 144IU/L（基準 37～160）。免疫学所見：CEA 6.0ng/mL（基準 5 以下），CA19-9 80U/mL（基準 37 以下）。上部消化管内視鏡写真(乳頭部) (A) と磁気共鳴胆管膵管像〈MRCP〉 (B) とを次に示す。



A



B

問1. この患者で認められる所見はどれか.3 つ選べ。

- a. 胆嚢腫大
- b. 総胆管拡張
- c. 胆嚢結石
- d. 主膵管拡張
- e. 上部消化管閉塞

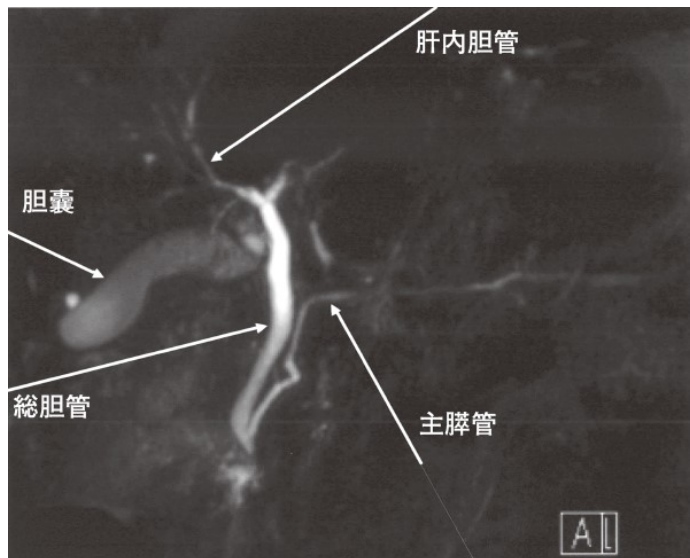
問2. 最も考えられる疾患はどれか。

- a. IPMN(膵管内乳頭粘液性腫瘍)
- b. 慢性膵炎
- c. 十二指腸乳頭部癌
- d. 胆嚢癌
- e. MCN(粘液性嚢胞腫瘍)

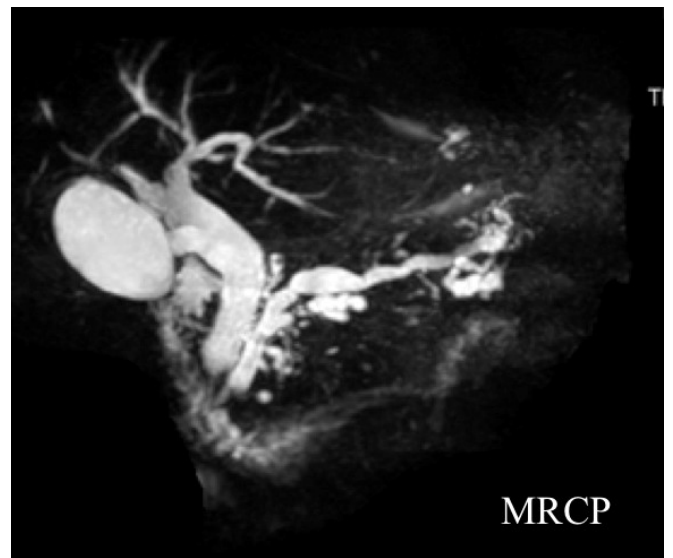
解答

問1. a,b,d

MRCP の所見から。



正常



問2. c